

**【アメリカの金融バブル延命シナリオと
ドル元「1ドル=7元攻防」について考える！】**

⇒編集後記で

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【「スペシャルすぎる新特典」が野田式 FX 道場に追加されました！】

⇒ <http://fxdojo.online/cryptopri/>

【無料 FX 道場 27 時限目】

仮想（暗号）通貨 FX に野田式が融合！

⇒ <http://fxdojo.online/refree/crypto/>

【まとめ】無料 FX 道場 26 時限目

までの内容（動画+音声など）

をまとめました！

⇒ http://fxgod.net/pdf/26jigen_matome.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

こんにちは！

さて、昨日ですが新しい特典ページを公開しました。

こちらの新しい仮想通貨用の特典に関しては

野田さんのほうで現在進行形で作成していただいている状況なので

また納品され次第、購入者の方にはお届けできる予定なので

お楽しみに！

それで、「特典が受け取れていない」と言う人が

数名いらっしゃるのですが

**その場合は「インフォカートの購入者画面」で
私ゆうの購入者用 PDF がダウンロードできますので、**

そこから購入時のお名前とアドレス、で登録いただければ

メールで特典が配布されていく形式をとっていただいておりますので

もしまだ特典受け取れていないという方が
いらっしゃるようでしたら

上記の登録だけよろしくお願ひします！

(当たり前だけどあげると書いてる
特典は100%お届けしますので。
一応念のためまた時間が経過したら事務局からも
送ってもらう予定です。)

またこれはメルマガでよく書いてますが
GMAIL とかは数年前からメールの中身を勝手に見て

それでお金を自分で稼ぐ系の内容は
全部ではないのだけど
一定比率で事前にメール削除とかやっちゃってるようで

迷惑メールにも入らないことが報告されてますので
G以外のメールで登録されるとスムーズだと思います！
(届かない報告のほとんどがGユーザーです)

それでこの辺はトランプ大統領なんかも
グーグルをその辺の情報誘導で批判しているけど

私なんかはこういう経験を通して
世間では理解されていないトランプの気持ち
痛いほど分かるってのはありますね・・・

それで・・・以前にバブル延命のコントロールされた
制御崩壊と

危機どっちだろう

という話で書きましたが

<PDF> 世界中の投資家が警戒する
米国債金利3%台をどのように捉えるか？
について考える！

<http://fxgod.net/pdf/3percent.pdf>

今日はその短期中期ではバブル延命していき
長期では崩壊していく
シナリオを考えていくのは大事なので

その辺を考えます。

編集後記で！

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

【「スペシャルすぎる新特典」が
野田式 FX 道場に追加されました！】

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

さて、現在メルマガの方で

公開してから大変好評な
「野田式 FX 道場」を
扱っておりますが

今回はお知らせなのですが
なんと野田式 FX 道場にて

**「スペシャルすぎる新特典」
が追加になりました！**

**ズバリ今も 390 万円相当豪華特典が
ついておりますが
さらに今回野田さんに交渉し
お願いしたところ**

**「頑張ってる方がさらに喜んでくれるならば
奮発してしまいましょう」**

**ということでなんと野田さんが
特典を新しく用意してくれました！！**

**ズバリ今回の特典ですが
以前にお伝えしてるように
資金管理などの工夫は必要であります**

野田式 FX 道場の分析は仮想（暗号）通貨、

~~~~~

**でも当然使えちゃうんですね。**

~~~~~

それであくまでメインの内容は市場が
整備されている
法定通貨 FX の内容が野田式では主なんです

参加者の方でもやはり
仮想通貨をしてる方は多いので、

「仮想通貨のビットコイン、イーサリアム」

~~~~~

についてのチャート分析の動画を

~~~~~

今回なんと、

~~~~~

期間限定で特典として追加することが

~~~~~

可能になりました！

~~~~~

詳細としては以下になります。

=====

■ 新特典概要

**【億トレーダーが仮想通貨（暗号）通貨  
ビットコイン、イーサリアムを野田式ライン分析、  
エリオット波動、グランビルの法則を駆使し**

**徹底解剖した戦略・戦術をすべて暴露した分析動画  
&そのリアルタイム共有テンプレート】**

**となります。**

**さらなる詳細は以下の通り。**

**「近年の仮想通貨（暗号）通貨バブルの影響から  
ビットコインやイーサリアム、リップルといった  
仮想通貨へ投資やFXトレードへと参入する人々が増加しています。**

**このスペシャル特典では  
これから仮想通貨（暗号）通貨投資・トレードへ  
参入している、**

**もしくは参入しようと考えている方には、  
必見の内容となっております**

**将来の値動きに対しての、戦略・戦術を  
億トレーダーがライン分析、グランビルの法則、**



**ダウ理論、エリオット波動などの分析をフル活用して  
徹底解説をした規格外の特別な動画となっております。**

**また、億トレーダーが分析したチャートをそのまま、  
あなたのMT 4へと同期させることができる、  
リアルタイム共有テンプレートも無料でお付け致します！**

**恐らく個人投資家、専門トレーダーでも知り得ない、  
非常に価値の高い情報となっておりますので、  
無料で提供をさせて頂くのは今回限りとさせていただきます。**

**※既に入会頂いた方へもプレゼント致します  
のでご安心下さい。」**

=====

**以上です！**

**なんと、今回は以上の特典が追加されてしまいました。**

**ちなみに、当然ですが**

**上に書いてあるように**

既に以前に1期2期で  
私経由で入っていただいた  
道場生さんにも

この特典プレゼントさせていただきます！

(現在野田さんに作成していただいているのですが  
完成次第、随時お渡しする形になります！  
)

それで今回は特典も追加されまして  
野田式FX道場がもはや「金持ちへの登竜門」  
のようになってますが

この特典をまた

あなたの法定通貨FXの方で  
スキルが安定した後に  
活用していただくと、

あなたの収益の幅がさらに  
広がる確率が上がるでしょうから

是非こちらの新規特典についても

**活用ください！**

**それで今回は新規の大型特典が  
追加されたため**

**特典ページも刷新して、**

**デザイナーさんが  
作り直してくれましたので  
是非特典ページも先ほど納品されたので**

**ご覧くださいね！！！！**

**【新特典ページを公開いたします】**

⇒ <http://fxdojo.online/cryptopri/>

=====**編集後記**=====

さてさて、今日はアメリカの金融バブルがこれからも

しばらくは（2020年代前半あたりまで？）延命していく

シナリオについて考えて行きたいと思います。

それで私なんかはこの数日いわゆるリーマンショックのような危機と

そしてしばらくは短期中期で延命して

その後数年して崩壊する流れ

（田中宇先生がおっしゃるコントロールされた

崩壊論）

どっちだろう、ということでまあこの10日くらい見ていたのですが

これは予測というのは不可能なので

100%はないといつも書くのだけど

どうもやはり2020年代前半の崩壊でそれまでは

延命するシナリオは考えていく必要はあるな～～

と見てます。

それでアメリカが主導している世界の株価なんかは

10月10日から2日間急落して世間でも

相当騒ぎになっていましたが

今日の10月16時点では持ち直し始めていると。

そして12日の金曜日には反発するという動きでした。

この大きなボラは事前にPDFで渡していたように

長期米国債の金利上昇が続いたことが

大きな要因であったわけですが

トランプ大統領なんかも

「FRBが9月末に無理やり利上げしたから

中間選挙前に株が暴落したのだ」なんて

怒ってましたよね。

それで世界的に株価の危機的な展開が続きまして

ドル安、ジャンク債の金利急騰、金地金相場の上昇は

起こりました。

それで株式市場から米国債にお金 flowed ので

金利は一時的に低下しました。

それで再びバブル膨張の上昇傾向に戻るという

楽観説と

そして再び危機的な急落になるという悲観説

当然両方あるわけですが

今日は、長期で見るとやはり構造的に悲観説だけでも

短期とか中期で見たら楽観説、

という見方、すなわちまだアメリカの金融バブルは

継続する、というシナリオについて

考えて行きたいと思います。

大きな流れ、長期的な流れでは、

今の

先進国の巨大バブルがずっと継続することはありませんから

その時には株価は暴落、金利は高騰、大不況で

そこで今下がってる金地金が大幅上昇になるシナリオは

見えてきますが

(この辺はFX とかの短期だけでやってる場合は  
関係ないかもで日本には長期視点の投資家がほとんどいませんが

株でバリュー投資で10年単位の長期保有を考えてる人は  
考える必要があると思います)

ただ、短期中期では

バブル膨張の態勢がしばらく延命して株価は

なんだかんだ上昇傾向を続けて、ジャンク債の金利上昇は

一端止まって、長期米国債金利は上昇するんだけど

そこで金相場は再び短期中期で下落していく



というシナリオについては考える必要はありますよね。

ちなみに金なんかは金ドル相場では月足で見ると、テクニカルでは

1265ドル～1290ドル近辺に重要なゾーンが

密集していてレジスタンスとして機能する可能性は高く

再度そこまで戻して上がってもリターンムーブつけて

1000ドル近辺まで

下落するシナリオは想定したいですが

もしそのシナリオ実現されたら金は長期保有前提で

あえて暴落後に買い増しするのもありだと思います。

だからこれは田中宇先生が分析されていた

**短期中期ではバブル延命するけど**

**長期で5年10年の**

**視点だと崩壊していく**

**っていう制御崩壊シナリオですよ。**

**それで今回の急落で債券投資の資金が**

**たった1日で1兆ドルだから111兆円くらいは**

**流出したと言われていまして**

**それで实体经济の住宅ローン金利も上がっていると。**

**だから最近の相場は結構 怖さが潜在的に存在してる**

**相場で**

**短期中期では延命したとしても**

これが長期だとヤバイ可能性高し、な感じですから

警戒することは必要な相場なんでしょう。

それでこれは先進国の状況であって

今新興国の株価とかは超暴落していて

バーゲンセール状態ですが

例えば長期投資家で有名なバフェットなんかは

暴落時に本質的価値がある企業を

買うということが大好きな人なんだけども

(ちなみにバフェットの場合は資金管理的に

現物なのでストップを入れるということはしませんよね。

その取得した企業が倒産したら損きりということなんだろうけど

そのようにして彼はどうも資金管理をしている、

というのが彼の本を沢山読んでると分かってきます)

新興国なんかはこれからも資金流出が続いて

たびたび短期中期視点だと暴落が起こるでしょうが

10年単位の長期では強いでしょうから

やはり私は新興国なんかは長期投資だと注目してます。

それで QE = 金融緩和 = ジャブジャブマネーの

先進国に関しては

まだ金融バブルが延命される可能性を考える必要があつて

やはり2020年代前半あたりまでは想定できますが

ここで新興国 BRICS 中の巨大な一国である中国の

人民元の一時的な下落というのは

シナリオのひとつとして考えられるわけですね。

今のアメリカの金融バブルというのは

アメリカの QE⇒日銀の QE（金融緩和アベノミクス）

⇒ECB の QE（ドラギノミクス）

で債券市場が買い支えられてるところから

バブルが維持されていまして

最近だともうこの QE が各国縮小の流れですから

なんとかアメリカや世界中から新興市場に投資されていた

巨額資金が為替変動を嫌がって（嫌がらせて）

アメリカに還流している、という状況ですよね。

この辺はたぶん、世界の株式やってて為替と金の

取引している人にはすごい

チャートでそのまんまの現象が出てるので

わかりやすいと思います。

それでこの数ヶ月のドル高はFRBのQE離脱策である

短期金利の引き上げと債券の市場への放出（売却）が

原因ではありますが

2018年の8月以降は新興市場諸国は  
そのためドル不足となっており米国債を買えなくなってます。

それで長期米国債の金利上昇を生んで

以前に長期米国債の3%のことも書きましたが

それで先週の株価急落につながってますが

これからもし株価暴落と連動してドル安は進んだものの

そこで野田さんのテクニカルの見方で言うと

大ダウでの下降トレンドラインゾーンのリターンムーブで

上昇基調に入って再びドル高、人民元安、新興市場通貨安に

戻れば

これ2019年の春以降もアメリカのバブル維持の

構図が再生される、ということですね。

だから短期中期では延命、長期では

2020年代前半（2023年前後）にアメリカ覇権さようなら

の制御崩壊の構図ですが

ここでアメリカのバブル維持が継続するかどうか

重要なところですよ。

それでここでキーになるのが人民元の対ドル為替ですが

**1ドル7元の攻防**があるわけです。

今の2018年10月16日はUSD CNHが6.92ですね。

この攻防は個人的にはかなり注目していますが

8月には大きな週足レベルの下落ピンバーがきましたが



これは人民銀行が7元超えを阻止しました。

それで今回は7元越えるかどうか、が焦点ですが

もし7元超えるのを今回は中国が容認したとしたら

そこでドルあたり7.5～8元までの元安は想定できると。

それで世界株やってる人たちにとって

このドル元の値は結構大事ですから

定期的にチェックする必要がありますが

この新興国の代表中国の元安が進む＝

新興国全体の対ドル為替の下落

の関係値・相関性でありますから、

ここで人民元が7元を超えてきた場合は

世界からアメリカへの資金還流に拍車がかかって

それで短期中期では新興国株も下がって、

アメリカは延命するという流れは想定できますよね。

それでまた重要な相関がありまして

これは最近出てきた相関ですが

私が学ぶ田中宇先生の指摘しているところで

最も重要なのが

最近人民元と金＝ゴールドがペッグしてるんです。

だから元安＝金安でありますよね。

だから元が安くなって1ドル=今の6元から7元代の

ステージに今年あたりに移行したとすれば

それは短期中期で金相場の再度の下落になる確率は

上がるってことですね。

それで短期中期で元安と金安が進んだとしたら

これは短期中期で

ドルはもう少し上がるという方向性をその時

考える必要は

ありますよね。

ちなみにですが、世界の証券会社ではこの

ドル元=USD CNH って

近年メチャクチャ大事な通貨ペアに

なってるわけですから

たぶん英語圏の証券会社でドル元が見られない

証券会社って最近では減ってますが

もし国内証券とか使っていて

USD/CNHの通貨ペアがない場合・・・

その証券会社はヤバイですよ。

最近の世界情勢のキーになっている関連の大本の

通貨ペア見られないってのは結構ヤバイので

その場合は最低でも 金、ドル元くらいは見られる

証券会社を探すといいかもしれませんね。

それで見られる方はチャートを見てほしいのだけど

先週今週なんかは、人民銀行（中国の中銀）が

7元になってるのに元安に為替誘導しております。

どうもここで銀行やファンドで

「中国政府は元安を容認しだしているか？」

と憶測されているわけです。

ちなみにこれはまあ言ってしまうと為替操作ですから

トランプなんか以前は「中国が為替操作してる！」

と言っていたわけですが

これはなんだかんだ裏で米国債大量保有している中国と

アメリカはつながってますから

最近是不自然なまでにトランプは中国の為替操作を

批判しなくなってますね。

何か裏で米中でディールがあったろうと思われまます。

一方トランプの分かりやすいのが

その代わりに日本を標的に「おい、為替操作するな」

と論点ずらしてしましてマスコミがそれを報道してますが

この辺はトランプって背後の状況が見えてると

分かりやすいですよ。

逆にトランプの今の論点ずらしを見ているとどうも

中国を非難せずにドル元 で1ドル7元代を容認する準備をしている

とも見えますね。

ちなみにこの7元台の攻防はチャートで見ると

大変重要な水平線およびトレンドラインゾーン  
になってるんだけど

ここで7元台を中国政府が容認したら  
(テクニカル的には水平線ゾーンを突破したら)

アメリカのバブル延命シナリオがしばらく続くことは

想定できますが

一方中国がそこで7元台突入を拒むと  
(テクニカル的には水平線ゾーンで跳ね返されたら)

中国など新興市場からアメリカへの資金還流が止まって

アメリカのバブルを維持するための「玉」がなくなりますから

ここでバブル崩壊色と株暴落や金利上昇が再発する

という相関性になってますね。

予想とか予測とか予知は意味ないのですが

こういう重要な攻防である程度 その後のシナリオは想定できるので

どっちにいても対処できるようにしておくのが

大事ですよ。

それでここではやはり中国政府の思惑を考える必要があつて

もしアメリカのバブル潰したいなら

元安容認しなければアメリカの債券市場に

新興国から資金還流起こらないから

そうすればいいんですけど



中国はまだそれをしないんじゃないかということですよね。

中国の場合、劇的な覇権転換を望んでおらず

あの人たちは中国4000年の歴史ですから

まさにゆっくりとゆるやかに覇権が転換すればよい

という長期視点で見ますので

中国はどうもそれをしないのではないかと。

それで当然元安になれば中国製品の輸出の儲けが

アップしますので

トランプの中国への貿易戦争といわれていますが

懲罰関税もしっかり相殺以上に利益出せるんですね。

だからこの辺は金融見るとよくできていると分かりますが

表向きは米中貿易戦争と言ってトランプが中国に

仕掛けてるように見えるんだけど

米中で背後で何かしらの協調があって

ここでアメリカはしばらくバブル延命、  
(ドルの敵の金は下落)

そして中国は人民元安容認しながら

関税分以上の利益を 貿易黒字で出せるということで

これ見るとどう見ても米中は表向き戦っていても

裏の大事なお金の部分のところでは協調してるんです。

だから中国の習とトランプ大統領は本気で

戦っていませんよね。実際は演技というか

茶番なんです、あれは。

だから米中戦争なんてものは起こりませんね。  
日本の新聞ではそういうシナリオを書いている人いるけど  
実際はそんなの金融見てると起こりえない、  
ありえないレベルとまで言えます。

もっと言うと北朝鮮の暴発なんてのももうないです。

なのでこの1ドル7元台になるかどうかは

結構大事な局面ですが

もしここで7元台シナリオならば

新興国市場の株価なんかも相当下がるでしょうから

長期投資を考えるなら今まで高くて買えなかった

株も相当落ちることも想定できるので

暴落が確認できたら適正水準になったら

拾って行きたいですね。

ちなみにこうやってお金は世界中をぐるぐる回ってるのだけど

今まではアメリカから中国に投資金流入があって

中国の金余りバブルにつながっていたのだけど

今はその資金がアメリカに戻っておりまして

そこで中国政府が意図的にバブルを潰そうとしているのが

分かると思いますが

ここで中国なんかは株安と国内消費の冷え込みが

一時的におきているわけですね。

ただこれは「起きちゃってる」のではなくて

**「中国政府が意図的に株式バブルつぶしている」**

**つてのが正しいので**

**この見方は日本では知られていませんが**

**やはり重要な見方です。**

**もし中国が上海総合指数なんかを上昇させたければ**

**簡単に元安を一切容認しなければいい話で**

**元安を容認しなければ、新興国たちからアメリカへの**

**資金還流も起こりませんし**

**またそこで投資金がアメリカ市場から中国に流入してきて**

**そこで中国株を上げることはできるんだけど**

それはどうも今の中国政府は行っていないのですね。

むしろ中国や新興国から一時的に数年くらいは

アメリカの金融市場に資金流入させる政策を取ってしまして

短期中期で株式のバブルを作る気はないようです。

それで長期米国債に関しては3%台が普通になってきましたが

中国は米国債を徐々に買わなくなっていますから

そうすると米国債買ってくれる大口の中国抜けてるので

長期米国債は現行3.16%台から3.5%4%とかあたりまで

目指すことも考えられますが

この米国債金利ってのが長期的にはアメリカのバブル延命の

カウントダウンですよね。

米国債が3%でも危ないと言われていましたが

それが4%5%とかになるとですね、

やっぱり短期中期では頑張っているも

長期ではさようならとなるわけです。

もう中国はだから最近は短期中期では

アメリカ延命にアメリカの財務省に言われたとおり

付き合ってるけど

長期ではその崩壊を織り込んでますね。

これは中国の投資行動を見ても分かりますが

今下落している金地金なんかを彼らはどんどん

買ってまして、

もう今や金地金取引なんかはマレーシアだと

中国業者なしには無理な状況だけでも、

中国はもっと長期で見えています。

それで中国株はバブルを自分で潰していて

中国の株式投資家で短期中期で見てる人にとっては

中国政府って憎まれてますが

長期で見た場合はやはり今の上海総合2600ポイント前後

から2020年代中盤～後半あたりには

6000ポイント台目指していく

動きは想定できますね。



それでアメリカの場合、株価はNYダウで25000ドル台を

キープしております

依然高値であります

これは上記のような資金還流でなんとか維持されてるものなので

決して実体経済がよくて、そこで消費行動が沢山アメリカで

起こって、それで企業の利益が出て

その実体経済のよさが株価に反映されてる

わけではない、んですね。

実際はアメリカの実体経済は大変な状況で

大手百貨店なんかも赤字決算垂れ流してるんだけど

それをなんとか潰さないように、金融界が

あの手この手で買い支えてあげてるんです。

アメリカの消費不振はなかなか深刻なもので、

アメリカ経済の場合7割が消費に頼るんだけども、

ここで好景気ならばシアーズなんかの百貨店は

利益出せるんですどね、

そうじゃないと。

ただここでアメリカの金融界は増益してるのだけど

これは単純に金融バブルのカネが流れているだけ

でありますよね。

ただやっぱり報道機関としては

「実体経済は悪いけど、株価だけは上がってるのだ。

それは金融界からカネが流れてきてるだけなのだ」

とは、いえませんから

一応その辺はカモフラージュして報道される傾向です。

日本の株価もこの前一時下落したものの

日経平均見ると上がってますが

実際は中小企業の株価はそんなに上がっていません

面白い現象が起こってますが

これは単純に日銀がなんとか QE で大企業たちを

買い支えてあげてると。

ただこの日銀 QE も来年やめる予定ですから

来年なんかは警戒必須ですよ。

ちなみに上記のような金融構造ですんで

まさに実体経済の改善ない状況での

バブルマネーが入ってでの上昇ですから

構造的に「来年はもっと暴落が起きる可能性が上昇してる」

ってことですよ。

今年は2月と10月に暴落があって

2回ありましたが

来年はこれもっと起きる可能性が想定できますから

注意したいところです。

それで来年の相場 2019年の相場は今年の2回を

上回って

暴落が頻繁にやってくる期待値があったりするので

例えば、オプションなんかの暴落で儲ける戦略で

日経のプット買いなんかは大もうけする人が

来年かなり出ると私は見てますね。

(一方株では買いで瀕死者が出る)

FXなんかでは来年は上がりきったところで

ショートで暴落を取るという

戦略がかなりはまる瞬間が増えそうですから

それは準備しておきたいところですね。

それで長期では暴落をある程度繰り返しても

バブル延命で吊り上げていくけど

それがそろそろもう限界・・・となってきたとき

2020年前後で私なんかは2020年代の

2022年とか2023年あたりだろうか

分かりませんが

その辺でまさに世界の秩序が転換すると。

この辺のシナリオも長期では見ていく必要ありと。

それでその際には資金流出で大変困っていた

新興国も打撃は受けつつもようやく2020年代に

いよいよ本格的な成長軌道に乗れますから

新興国の株価は概ね2020年代後半には

今の数倍になってる確率が高いと私は見ております。

ということで**短期中期では延命して**

**長期では崩れるシナリオ**ってのは

考えていく必要は出てきてる情勢でしょうから

この辺でうまく立ち回ることが大事ですね！

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみに来年の相場は構造的に

今年以上の頻度で暴落が想定できますから、

株やってるならオプションで手数料かかるものの

暴落ヘッジは大事でしょうし

あとはFXなら暴落きても儲かる技術は必須でしょうし

(エリオット波動の調整波取る視点)

あとはストップが機能しないような相場も考えないと

いけませんから

追証ある業者は個人的にはスーパー NG と考えてます。

スイスフランショックのとき報道されませんでした



個人投資家で追証で証拠金がマイナスになって

数千万円の負債抱えた個人投資家もいたので

それは追証がある業者を使っていたことから

出てきた失態ですので

この辺は反面教師として学ぶ必要がありますね。

それで長期の不動産買うつもりで

10年以上保有する前提で金地金なんかは

これからも上記ドル元の攻防で下がることは想定されるので

もしそのシナリオなら

相当安くなったところで

2020年代に向けて買いたいところですよ〜

追伸 2 . . . また私はマレーシアにいまして

不動産価格つてのも投資はしていないけど

市況として重要だからよく調べているんだけど

「あれ？この前は100万リングット（2700万円）

だったのに

最近は70万リングット前後

（1890万円）に落ちちゃった」

っていう物件がかなりこの2ヶ月で見受けられます。

投げ売りしてる中国人オーナー増えてる。

新興国からアメリカの市場に一時的にカネが

還流しているっていうのは海外にいるとモロに

感じますね。

ただじゃあここで新興国がだめになるか？というと

そうではなくて

短期中期で苦しめられても長期の視点だと

やはり復活する確率高いんですよ。

株とか不動産とか金なんかの長期投資だと

狼狽売りってダメなものですがやっぱりそれを

やる人は多いんだなと。

一方 FX なんかはレバレッジ効かせたものだから

損きりは必須で、この辺の損きりの考え方も

扱ってる投資対象によって変わって来るわけです。

それで将来的に長期視点で

想定される先進国のバブル延命できずの

崩壊ですが

先進国が暴落から立ち直るためには

人口が十分あることと、その人口ピラミッドで

若者が多いことが重要ですが

それは今の先進国にはないのですね。

一方

**アジア新興国はこれ人口ピラミッドが若いですから**

**仮に短期中期の資金流出で大変でも**

**立ち直ります。若いと回復は早い。**

**そこで新興国では大量の中間層がやはり**

**2020年代～2030年代に形成されまして**

**彼らがこれからの世界経済を先進国の代わりに**

**引っ張っていくんですね。**

**なので視点としては短期中期の投機目線と**

**長期の投資目線では考え方が変わって来るわけですが**

**それは若干の器用さは必要になるけど**

金融商品とかによってそれぞれの視点を

適用して、

バブル延命時でも暴落時でもちゃんと安定利益を

あげられるようにするってのが大事ですよね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【「スペシャルすぎる新特典」が野田式 FX 道場に追加されました！】

⇒ <http://fxdojo.online/cryptopri/>

**【無料FX道場27時限目】**

**仮想通貨（暗号）通貨FXに野田式が融合！**

⇒ <http://fxdojo.online/refree/crypto/>

**【まとめ】無料FX道場26時限目**

**までの内容（動画+音声など）**

**をまとめました！**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/26jigen\\_matome.pdf](http://fxgod.net/pdf/26jigen_matome.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆